

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広
報
誌

よりそう

vol. 44

令和6年度 救急医療功労者厚生労働大臣表彰

仙台徳洲会病院が受賞



表彰を受ける
仙台徳洲会病院 井上 尚美 院長（左）

仙台徳洲会病院 看護部



Instagram



広報ブログ



仙台徳洲会病院が令和6年度 救急・産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞

救急医療貢献で表彰 コロナ対応でも評価



表彰状を持つ井上尚美院長と、記念品を持つ片岡隆行事務長

仙台徳洲会病院は「令和6年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰」を受賞した。都道府県知事の推薦のもと、長年にわたり地域の救急医療の確保や救急医療対策の推進に貢献した個人や団体、医療機関の功績をたたえるもの。今回は全国から個人24人、2団体、11医療機関が選出、同院は団体として受賞した。

同院は1986年の開設以来、救急医療に注力。2022年の新築移転では、ハイブリッドER(救急外来)を整備し、救急医療体制を大幅に強化。ハイブリッドERは、ER初療室の隣にCT(コンピュータ断層撮影)装置を設置し、必要に応じて扉を開放し連携して活用する設備で、診断と治療を同時に進行できる。時間が非常に重要な救急医療において有用だ。近年は年間約5,000～6,000台の救急搬送を受け入れている。

さらにコロナ禍では、宮城県からの要請を受け、コロナ病床24床を有するプレハブ病棟を開設。さらに敷地内にプレハブの発熱外来棟の設置、発熱外来棟に隣接する位置にコンテナ型の簡易CT室「CT in Box」を導入するなど、一般診療を継続しながらも救急搬送されるコロナ患者さんを積極的に受け入れる体制を構築。これらの取り組みが評価された。

井上尚美院長が9月9日に都内で行われた表彰式に参加し、濱地雅一・厚生労働副大臣(当時)から表彰状を授与された。表彰式後のインタビューで井上院長は「今回の賞は当院が受賞しましたが、長年、救急医療に携わってきた徳洲会全体に対する評価だと受け止めています」と強調。続けて「当院は診療科を拡充させ、それに応じて各科での救急対応力の向上も図り、今後も地域の救急医療に貢献してまいります。この荣誉ある賞を受賞できたのは、当院の力だけではなく、これまでご指導いただきました仙台医師会をはじめ、地域医療に携わる皆さまのおかげであり、深く感謝しております。今後とも皆さまのご期待に添えるよう、お力添えをいただきながら、さらに地域医療に従事してまいります。引き続きご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。」と気を引き締めている。



救急総合診療科では月平均450～500件程度の救急要請があり、救急搬送の応需率は月平均で95%以上で受け入れを行い、当院に搬送される、内因性・外因性および重症度を問わず、全ての救急疾患と病態に対する蘇生を含む初期診療を担っております。

新築移転時の患者様搬送では、全国のグループ病院から救急車で集結してもらい、混乱も無く無事終了しました。今回の表彰は、仙台徳洲会病院が団体として表彰されましたが、徳洲会グループの全ての病院が「生命だけは平等だ」のもと日々全力で救急医療に携わっております。



最前列 左から4人目が井上尚美院長

新任医師紹介

脳神経
外科

田村 貴光 医師

主たる学術認定・専門医

- ・日本脳神経外科学会専門医
- ・日本脳神経血管内治療学会専門医
- ・日本脳神経血管内治療学会指導医
- ・日本神経内視鏡学会技術認定医
- ・医学博士



● ご挨拶

手からのアプローチ → とってもラクです。

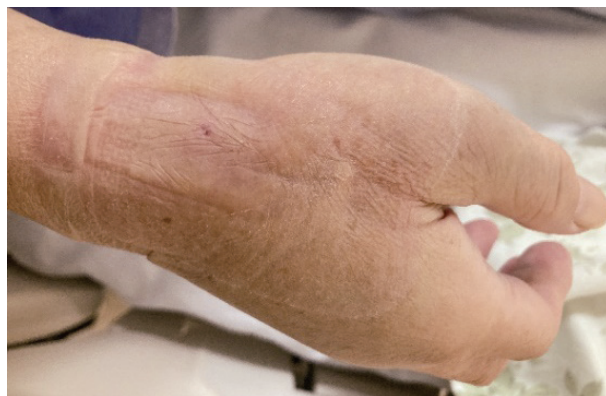
脳卒中の治療は8割以上が、開頭することなく、血管内でカテーテル治療できる時代になっています。

足の血管からカテーテルを挿入するのがこれまで一般的でしたが、カテーテル開発がすすみ、私たちは手の血管からカテーテルを挿入します。治療後、長時間ベッドに横になっておく必要がなくなり、非常に楽になり、皆様には喜んでもらっております。

積極的に、くも膜下出血緊急手術、血栓回収術やります！！



治療前



治療後

外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	田村 貴光 受付 8:00~15:30	—	藤井 康伸	—	—	—
午後		—	藤井 康伸 再来予約のみ 受付 13:30~16:00	—	—	—

消化器
内科

加藤 敏明 医師

主たる学術認定・専門医

- ・死体解剖資格認定
- ・消化器内治療学会専門医
- ・消化器内治療学会認定医
- ・消化器病専門医
- ・総合内科専門医



● ご挨拶

医籍登録は昭和ですが、令和医療にアップデートできるよう努めてまいります。
趣味は家庭菜園で、夏は雑草との闘いです。

当科では、消化管・肝胆膵の領域を担当しており、主に胃食道逆流症、消化性潰瘍、慢性肝疾患、膵炎、胆石症、消化器がんなどの診療を行っています。上下部内視鏡検査や胃・大腸ポリープの切除、消化管出血の止血術、内視鏡的胃瘻増設術、ピロリ菌の除菌治療を行っており、胆膵疾患の内視鏡検査や治療は外科が担当しています。ESD症例、IBDなどは専門施設に紹介しています。

対象疾患

- 逆流性食道炎 ● 慢性胃炎 ● 胃十二指腸潰瘍 ● 胃ポリープ ● 胃がん
- 感染性腸炎 ● 虚血性腸炎 ● 大腸憩室炎 ● 大腸ポリープ ● 大腸がん ● 脂肪肝
- 慢性肝炎 ● 肝硬変 ● 胆石症 ● 胆嚢ポリープ ● 膵炎

主な症状

- 嚥下困難 ● 胸やけ ● 腹痛 ● 嘔吐 ● 下痢 ● 便秘 ● 吐血 ● 下血 ● 黄疸 ● 腹水

外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	戸巻 寛章	加藤 敏明	加藤 敏明	戸巻 寛章	佐藤 琢	—

歯科口腔外科部長 郷家 久道



歯科医師臨床研修を開始

仙台徳洲会病院は、今年度から歯科医師臨床研修を開始しています。同研修は2006年4月に始まった制度で、歯科医師は歯科医師国家試験に合格した後、臨床研修施設の指定を受けた病院・診療所などで1年以上の臨床研修が義務付けられています。臨床研修を行う施設の区分には単独型、管理型、協力型、さらに研修協力施設があり、当院は管理型の臨床研修施設です。管理型臨床研修施設として、研修協力施設と共に研修医を育成します。研修プログラムは口腔外科が中心となりますが、入院患者様への一般歯科対応や周術期の口腔機能管理など、全身疾患を抱えた患者様に対し、医科と連携した対応も学べます。

また、歯科では珍しいオープンシステム（開放型病院）を導入。これは病院の施設・設備の一部を地域の開業医に開放し、病院の医師と共同して診察を行うシステムです。郷家久道 歯科口腔外科部長は「地域で開業を目指す歯科医師が、当院で数年働いてから開業するケースもあります。研修医であっても、将来の開業を見越したうえで、当院で学んでもらうのも良いと考えます」とアピール。

楠原 司 研修医は、「将来的に開業する場合でも、口腔外科や全身疾患のある高齢者への対応を学ぶことは必要だと思います。当院には医科の研修医もいて控室が一緒なので、病気や薬について気軽に相談できるのも良いところです。将来は妥協しない歯科医師になりたい。忙しさや知識不足などを理由にせず、どんな時でも患者さんにとって有用な治療を届けられるように頑張ります」と誓いました。

郷家部長は「当科には研修医のほかに歯科衛生士も新卒で入り、前向きにチーム一丸となり指導しています。チーム全体が活気づき、さらなるパワーアップを目指しています」と期待を寄せています。

地域活動通じて懸け橋に

郷家久道 歯科口腔外科部長は、地域住民のひとりとして町内会活動に積極的に参加すると同時に、地域と病院との懸け橋となるべく尽力しています。郷家部長が加入しているのは泉中央町内会。2022年4月に新築移転するまで同院が立地していた地域を含む町内会。

郷家部長は仙台病院での勤務を開始した約27年前から、長年にわたって世話役を務め、文化体育部に属して夏祭りや秋のスポーツ大会の際には実行委員長を務めるなど中心的な存在となっています。仙台病院は各町内会や地域の文化サークル、障がい者支援団体、患者会などからの依頼で医療講演を行っており、郷家部長も積極的に講師を引き受けています。



泉中央町内会の30周年記念誌を手に



町内会様からのご依頼で開催した講演の様子

「泉中央町内会は今年30周年を迎え、記念誌の制作も行いました。町内会の発足当初と比べて街は発展し人口も増加するなど変貌を遂げてきましたが、これからも変わらず住民の方々との交流を深めながら地域に貢献していきたい」と郷家部長は抱負を語りました。

研修医受け入れについて

— 未来を担う若き医師の育成をめざして —

臨床研修指定病院とは

当院は平成15年4月に、医師法第16条に基づき厚生労働省より指定された基幹型臨床研修指定病院です。基幹型臨床研修指定病院とは、医学部を卒業し、医師免許を取得した医師（研修医）が卒後2年間、基本的な手技、知識（初期研修）を身につけるために経験を積む病院であり、臨床研修医（臨床研修中の医師）が皆様の診療に携わることがございますが、趣旨をご理解下さいますようお願い申し上げます。

基幹型臨床研修病院の役割

当院は、初期研修医を受け入れており、臨床研修協力病院・施設と連携した研修プログラムを充実させ、患者さまに対して、安心でより質の高い医療を行える医師を育成してまいります。基幹型臨床研修病院の責務として、地域における中核的医療機関として更なる充実に努めてまいります。

【研修理念】

徳洲会の理念「生命を安心して預けられる病院・健康と生活を守る病院」仙台徳洲会病院の理念「あなたとあなたの家族に寄り添う」のもと、いつでも・だれでも・安心して受けることができる診療能力を身につけ、職員や家族、近隣の方々に信頼される医師の育成を目指す。

【基本方針】

1. 基本的知識・技能・態度を修得する。
2. 患者中心の医療を理解し、実践する。
3. チーム医療の重要性を理解し、実践する。
4. 医療安全を深く理解し、実践する。
5. 地域医療の重要性を理解し実践する。



当院研修医たち

【救急を断らない医師の育成と、それを実現するためのトレーニングの具体的な実行方法】

1. 初期臨床研修期間中、継続的に救急外来に関わり、数多くの症例を経験する。
2. 患者を搬送してくる救急隊に対して事前に必要以上の情報を尋ねることなく搬送患者を受け入れる。
3. 自身の能力の限界を知り、迷った場合は指導医や上級医に躊躇なくコンサルトする。
4. 謙虚さを旨とし、患者やその家族、救急隊員、共に働く仲間といった出会う全ての人々を尊敬し、医師であることに誇りを持って診療にあたる。

研修スケジュール（例）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科 28週						救急部門 12週			外科 8週		麻酔科 4週
2年次	小 4週	産 4週	精 4週	地域医療 8週		自由選択科 4－32週						

仙台徳洲会病院 臨床研修センター 〒981-3116 仙台市泉区高玉町9-8 TEL 022-771-5111(代表) FAX 022-771-5100